

# KSKQ あかねニュース No. 74

川西市障害者共働作業所あかね  
〒666-0017 川西市火打1-5-19

Tel&Fax 072-755-4101  
ホームページ [akanesan.net](http://akanesan.net)  
E-mail: [rassyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:rassyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp)

## 希望

〜新年のご挨拶にかえて〜

新しい年を迎え、いつもなら「明けましておめでとございませう」と言えるはずなのに、こんなにも悲しくて、つらくて、この言葉が語れない……。

でも、生きていかねばなりません。生きることへの原点に立ちかえって人とのつながり、人へのやさしさ、感謝の心、一人一人が今一度、立ち止まって考えるゆとりも大切なことでしょう。日頃、あかねで働く人たちは、多くの方々の支援を受けて自分らしく生きることに懸命です。たくさんの方々の支援を受けて自分らしく生きることには懸命です。たくさんの方々の支援をうけている身であるからこそ、自分たちも少しでも、人のために働くことも忘れてはなりません。今、自分たちに何ができるか、問い続けています。障害者として、人生を生き続けることは、とてもつらいこと、きびしいことですが、そこから生まれてくる喜びもまた、格別に大きいものがあります。

助け合いましよ、そして、つながりあいましよ、涙もながしましよ……きつと、その先に「希望」の光が、喜びがみえてくることでしょう。皆様にとりまして、良い年でありますように。

今年もどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



# 絆(きずな)の姿

『糸へんに半分と書いて「絆(きずな)」と読みます』の歌いだしで始まる、ダークダックスのヒット曲「絆」(作詞：藤公之介・作曲：森田公一)が世に出たのは1981年、彼らの結成30周年の年でした。じつは彼らとは個人的にちよつとした縁があつて、他のコーラスグループに比べて一段と親しみを感じているのですが、その彼らも寄る年波に勝てず二人の仲間を失い(一人は亡くなり、もう一人は、うつから認知症へ)、ついに結成60周年を迎えた2011年に「活動終了宣言」をしました。その節目となった年の「その年を表わす一漢字」に「絆」が選ばれたことには、偶然に驚くというより、一抹の感慨を覚えます。因みに、この歌の一番の歌詞は、「糸へんに半分と書いて絆(きずな)」と読みますお互いに半分づつの糸を結び合うからです糸の太さは人それぞれ顔の違いと同

じです固いか緩(ゆる)いかほどほどかその結び目が大事です君がいたから青春だった君がいるからあたたかい人は誰でもそんな友達 探し求めて旅をする」というやや比喩的なものですが、これが二番に入ると「にんべんに半分と書いて伴(ともな)うと読みます人はみな半人前が二人道連れだからです一人のできる事といえ互いにたかが知れてます一人の旅より二人旅 触れ合う肩が語りあう・・・(以下繰り返し)」と、作者の言いたいことの核心に迫って行くのです。この一年、正確には2011年3月11日以降ですが、日本中に「なぐさめ」「はげまし」「いたわり」「おもいやり」の言葉が溢れました。東日本大震災の残した傷跡は、地震・津波それに原発事故を伴って、被災地・被災者にとどまらず全ての人々の心身を痛撃しました。悲しみに打ちひしがれた

被災地の人々は、それでも一刻の落ち込みのち健気に立ち上がり、復興への長い道のりを歩み始めたのです。そして、被災者と、それを助ける支援者とによる「友情の絆」が、その広がりや深まりを増していきました。

子どもの頃、「絆」という難しい漢字を知る前から、私たちはよく似たことを学校で教えられていました。「人」という字を見て「ごらん」小学校の先生がチョークを取って黒板に書き、そして続けます。

「これはね、二人の人が支え合って立っていることを表しているんだ。人は一人では立ってられない。誰かに支えられて、誰かと支え合って、初めてお互いに立っていることが出来る。この字にはそういう意味が込められているんだよ。」幼い私たちは、良く分からぬままに、先生が言われたことだけを記憶したのでした。今になって改めてこの話を(震災に照準しながら)反芻してみると、まさしくその通りだなあと思えます。ある人はボランティアとして現地に入り、瓦礫撤去をはじめとする力仕事

に精を出しました。

ある人は避難所を回って、お年寄りたちの「怖ろしかったその瞬間」の話を真剣に聴き、心の苦しみを和らげてさしあげました。そして現地入りできない圧倒的多数の人々は、あらゆる手段で救援の金品を、様々なルートで被災地・被災者に送り届けました。この痛ましい大事件を契機に、まさに日本中が一つになって、一つの方向に向かって求心力を高めたと言っているでしょう。

「絆」がその具体的な姿かたちを表現してきたのです。日頃ともすればその「欠如」が指摘されていた「隣人愛」ひいては「愛国心」が人々の心に急激に甦った、と云ったら大げさでしょうか？…そして、微力な私たち「あかね」も、皆様の大きなご理解とご協力を得て、昨年3月には「あかね元氣寄席」の収益金を被災地に贈りました。また今年には2012年カレンダーの収益金の一部を、副代表の富田啓子が仙台市若林区の姉妹施設「仙台あかね」に3月にも持参いたします。

加えて、サポーターの皆さんの中にもボランティアとして幾度も被災地入りして活躍されている人がおられます。「支えあう絆」の末端に、あかねの姿も小さく見え隠れしています。

話は変わりますが、「糸へんに半分」を、あらためて、より身近に実感したのは11月20日の一庫マラソンでした。あかねからはランナー(メンバー)とその伴走者(もちろん一緒にマラソンに参加している)が今年は5組！10キロレースを2組、5キロレースを3組がそれぞれ全力で完走しました。視覚障害者のように伴走者とロープを持ち合って走る、と云うことこそしません、あるときは励ましあるときは喝(?)を入れながらメンバーに寄り添うように走る伴走者(あかねのヘルパー・サポーターの皆さん)と、心から伴走者を信頼して走るメンバーの姿に、はつきりとした「絆」のかたちを見つけたのは、私だけではなかったでしょう。・・・

招待選手のダイハツ・山中さんが、5キロのゴール直前地点で待ちうけ、ぶつちぎ

り、最終ランナーD君の手を取るようになり、ストランしてくれたシーンも、たいへん心に残るものでした。

順序があとときになりましたが、謹んで新年をお慶び申し上げます。

今年もなにとぞ「あかね」をよろしくご支援ください。そして、皆様との「絆」を大切にしながら、「自立」に向け、スローペースながらも進んでゆく私たちを、暖かく見守り続けてください。

芳川雅美



# 私も「人間」を生きようとする

ニュースによると今年には「絆」と言う字が選ばれたときく。歴史に残る「3月11日の東北」そして和歌山の「土砂災害」。今、生きている人々はそれぞれに想いを強くした一年であった。「絆」それは「糸」、「半」と書く、なぜ半分なのか？動物(牛や馬、犬など)をつなぐ手縄からの由来らしい。

長すぎず、短すぎず、しっかりと結ばれると言うことらしい。自然界の中で生きる人間として動物や植物の恩恵を受けながら生きていくはずなのに人間は、科学万能の社会におごり、欲望の果てに自然界の「怒り」が爆発したのではないだろうか。

人はみな、多くの「欲望」を持つ。そのことが人として生きることへの「力」となることは事実。しかし、その欲望がまた、やっかいな力になることもある。誰もが、この二面性を合わせ持つ。それが集団の力

となって、その方向は分かれる。どの方向に向かって生きるのも良し。それぞれの人生を閉じる時は誰にでも平等に必ず来るのだから。

その時期を近くに感じるこのちっぽけな一人の人間が72年の人生をふり返ってみても「もつとこうすれば良かった、もつとああすればよかったのでは？もつと・・・もつと・・・」反省なのか、後悔なのか、欲望のうらがえしなのか。

又、あの時は何とも苦しかった、あの時は、楽しかった、あの時はなんともさびしかった、いろんな想いの中で人生を歩んでいる。

「あかね」と言う看板をあげて30年、あっちへこっちへゆらゆらゆれながら、いや、激しく燃えながら苦しみ悲しみ嘆き、もがきながらも、またうれし涙もたくさんこぼして来た。冷静に己をみつめる時、決

して一人では生きてこれなかった「事実」の数々を想う時、己の欲望がおさまり、希望の光が見えてくる。まだ、その年になって欲望？と笑われかもしれないが、命を閉じるその瞬間まで「人間の欲」と離れることはできない。「煩惱具足」の自分であるなら数えきれない方々との「この命の縁、まなざし」を大切にしたいと思う時、この身がなすべき道が、うす明かりとなってみえてくる。道はいろいろあるけれど、迷い道をしながらもこの道を行こう！と。

今年もいっぱいありがとうございました。これからも、ズーッとよろしくお願ひ申し上げます。



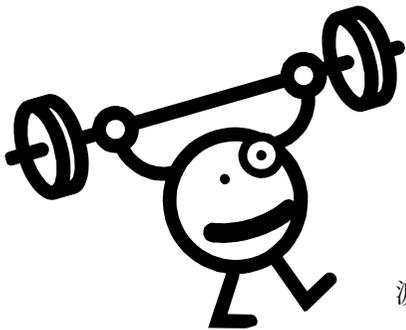
富田啓子

# 底力

早いものですね、たしかついこの前に、明けましておめでとう！とここで書いていたはずなのにもう新年を迎え新たな一年のスタートですね。年々、時間の流れが早く感じられるのは歳を重ねているからか、生活スタイルが変わってきたからなのか？時代の流れに急かされているような気がしないでもないです。いろいろ便利過ぎると時間短縮出来すぎて「もつともつ」と空いた時間に詰め込もうとしてしまふ。「便利」って本当は余裕を作る事ではなかったのかな？と思います。物理的な面での便利さだけならともかく、人間関係にも便利さ故の不都合が出ているような気がする。僕だけでしょうか？不便であることで人と人が「持ちつ持たれつ」の関係に結果的になっていたのでは。昨年は震災はじめ、とても辛い思いのする一年でした。

人の弱さ、強さ両面を見せられる年でもありました。一度崩れたものはなかなか修復出来ない、特に「人の心」はとてつもない時間が必要だと。今からが本当の戦いなのだと思います。

でも「人の力」はとても素晴らしく強いもので「ここぞ！」という時の底力で乗り越えて欲しいと思います。人との繋がりが個々の力に支えられてる「あかね」も同じく、新しい年を迎えこれからの困難にも立ち向かえるよう「人の力」を培っていきたいと思います。今年も宜しくお願いします



渡辺 誠

# カレンダー好評発売中!

今年もカレンダー販売の季節がやってきました。私が職員になる前に作業所のお手伝いさせていただいていた時、大量に届くカレンダーを毎日寒い中、暗くなるまで売りに行っているみんなを見て、正直「うわー、大変やなあ。これはいややなあ。」と思っていました。

そして職員になって、最初の年、作業所メンバーに教えてもらいながら、毎年買ってくださいているお店やお宅、そして初めての所を一軒、一軒本当にドキドキしながら回りました。この不景気にカレンダーなんて買っていただけのだろうか。訪問販売なんて、怒鳴って追い返されるんじゃないかって。けれども、とてもあたたかく「もうそんな季節か。」「今年はどうなんや?」「待ってたわよ。」と迎え入れてくださって本当にほっとしたのを覚えています。カレンダー販売は、作業所メンバーが主導

を握っています。

職員はいわば付き添いのようなもので、みんなそれぞれ自分のお客様を持っていて、朝一番に「今日はあの店に行ける?」「くさんは何時ごろじゃないとだめ」、「学生時代にお世話になったく先生に直接お願いするから連れて行って」とか「あの店はおばさんがいるときじゃないとあかん」といった極秘情報まで、何年にもわたり地域で人とのつながりを大切に結んできたからこそ出てくる言葉だと思います。思い切って初めてのお客様の所に行ってみると「あかねさん、知ってるで!いつも車に乗って頑張ってるの見てるで!」と言っていただき、緊張したみんなの顔が一気にほころびます。私にとっては今年で3回目のカレンダー販売。最初の不安は消え、今年もまた皆様に直接会ってご挨拶できることが嬉しく、また、毎日川西の地であかね一同元気に頑張っていると知っているだけで、楽しんで、カレンダーを手を歩いております。とはいえ、まだまだたくさんさんの在庫があり、好評

発売中です。川西近郊でしたらお届けにあらがります。すでにお知らせしておりますとおり、今年も絵手紙作家の山内和子さんに挿絵を描いていただき、ほんわかと心温まるカレンダーに仕上がっております。今年は1部1100円、うち200円を東日本大震災で被災されたくご縁のある施設に直接送らせていただきます。それを除くカレンダーの売り上げは、作業所の貴重な運営資金として、大切に使用させていただきますので、皆様のご注文をお待ちしております!

岡田小月



「バックオーライ、そこ右ね」  
最強の相棒達

あかねにお世話になり半年がたちました。今では、お弁当の配達や行商など、車に乗って毎日いろいろな場所に出かけています。

今、「出かける」などとえらそうに書きましたが、私はもちろん川西市内の道など走ったこともなく、地図を見て走るなどという余裕ありません。ひたすら前後左右を確認し、信号を守り、法定スピードを守り安全運転に努めています。：ちなみにバックで運転するのもあまりとくいではありませんでした。でも、その私が、今、ほとんど道に迷うこともなく、猪名川、伊丹、川西市内、交通量の多い道路、狭い道路、いろいろなところに出かけています。

それは、なぜかというと：：ひとえに一緒に出かけるメンバーの名ナビゲイトのおかげなのです。お弁当配達に出るようになったころ、初めて狭い路地にある保育園に配達に行った時の事です、狭い道を走る時、座席に座っていた彼女は、左側を常に、確認し「全然大丈夫やで」と声をかけてくれます。その声がけに導かれ目的地に到達し無事お弁当を届けました。が、今度は、その保育所の駐車場からバックで出なければならず、自分の頭の中で必死にシミュレーションしていると、またもや

「あんなおしりを右にふつてな、バートとでたら…」と言われその通りにすると、なんの問題もなくスルスルつと出ることができました。道を間違えたり、通過してしまったりすると「そこ右ね」とすぐ次の道を案内してくれます、しかも、狭い道は苦手だろうと、走りやすい道を案内してくれます。そのため、車両同士のすれ違いで、困った事はほとんどありません。ある時は、右折や左折をする時に、前方の並んでいる車の列に、中々、私達を入れてもらえず困っていると、車に向かって軽く頭を下げながら力強く手をあげ「入れて」の合図を出し「今行けるで」と私を促してくれます。また、同じような場面で「次の次の赤い(車)の後、行こか」と声がけしてくれます。バックする時も、外に出て「オーライオーライ、ストップ」と絶妙のタイミングで声がけしてくれます。本当に教室の教官さながらの対応です。何度、心中で手を合わせた事でしょうか…。全部書けばキリがないくらいいろいろな事があります、何よりも心強かったのは

「落ち着いて、大丈夫やで」の一言だったと思います。私が焦ったり戸惑ったりするたびに、いろいろなメンバーからこの一言をもらい、安心し、落ちつき、気がつけば、最初に書いたように「毎日いろんな場所に出かけています」の私になっていました…。様々な場面で作業所メンバーの力強さ、良くも悪くも人間味溢れる行動を目にする度に、驚き、戸惑い、いろいろな感情が自分の中に溢れ出しますが…。これから先、いろんな場面でこの車の運転のように、メンバーみんなにナビゲイトされながら進んで行くんだろうなと感じました。私も、負けないように、この最強の相棒達を横に乗せて、これからの、長い、長い道のりを走って行こうと思います。

竹内佳子



★ゆめ風基金への募金活動 お礼とご報告★

毎週月・水・金曜日の午前11時から13時まで能勢電鉄平野駅の改札口付近で弁当とケーキ販売をしております。その機会にゆめ風基金の募金箱を置いております。

皆様の暖かいご協力の結果、10月から12月末までに1,389円をゆめ風基金に振込みいたしました。ありがとうございました。まだまだ継続した支援が必要です。皆様、今後ともよろしくおねがいいたします。

あかねオリジナル  
お弁当・マドレーヌ・クッキー等、  
今年もよろしく願います！

「おいしい・手作り・安心・安全」をモットー  
とした「あかねオリジナル」商品(お弁当・ケー  
キ・クッキー・マドレーヌ:e.t.c)の数々を、  
今年も精一杯、真心をこめて皆様にお届けしたい  
と思っております。ご注文・配達、また、ご予  
算のご相談等、お気軽に共働作業所あかねまでご  
連絡ください！



※商品は写真と異なる場合がございます。

## ●あかねの掲示板●

### ふれあい広場

●開催場所：あかねはうす

・1月22日(日) 10:00~

「本場上海のおいしい水餃子」づくり

もちもち! ぷりぷり! つみんなで楽しく作りましょう!

・2月12日(日) 13:00~ 開演

「落語でワクワクしま笑!」 好評につき、今回は第2段です! 今回の演者は  
4名(予定)、笑ってください!

★ワンコイン(500円)で手作りランチ・ケーキ・コーヒーをご用意しております★

### あかね行事予定

- ・1月3日(火)・・・毎年恒例! 初詣<清荒神>
- ・1月7日(土)・・・おもちつき <共働作業所あかね>
- ・3月4日(日)・・・「林家染二」落語会<商工会館>



### 【編集後記】

あけましておめでと  
うございます。

昨年は、何かと皆様にご協力を賜り、誠にありがとうございました。あかね一家は、今年も、行商、お弁当配達、出店、また、イベント、なんやかんやで、大忙しになりました。ありがとうございます、一丸となって進んでまいります! また、お手伝いのボランティアの方、一度のぞいてみようかな? と思われた方、ぜひ、お越し下さい。あかね一同心よりお待ちしております。では、今年もどうぞ、よろしく願います。



竹内

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

頒価

定価

一〇〇円

## あかねオリジナル・カレンダー販売・お申込みについて

年末のお買い忘れはございませんか？まだまだ、販売のお申し込みを承っております。この申込用紙に（下記参照）必要事項をご記入いただき、FAXでお申し込みください。もちろん、お電話・メールも受け付けております。



今年もあかねオリジナル・カレンダーの季節がやってまいり今回のカレンダーは、昨年から引き続き山内和子さんの心温まるイラストをお願いし、また、皆様からの要望にお応えして、2010年度版と同様に、切り取り形式(左参照)で製作しています。今年も、どうぞ皆さまとのご縁が結べますよう、よろしく申し上げます。

お気づきとは思いますが、今年のカレンダーは、昨年より100円アップの1,100円で販売させていただきます。これは、3月に発生した東日本大地震において共働作業所あかねとして何ができるのか…それを考えた時、皆様にもご協力いただき、義援金として東北の方々に我々の気持ちを届けようと思いました。ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

**1部 1,100円 ※送料別**

### 【配達・郵送お申し込み】

( )本申込ます。

●お名前 ( )

●ご住所 (〒 )

●お電話 ( )

\* プレゼントなど、郵送先が上記と異なる場合はこちらまでご記入ください。

●お名前 ( )

●ご住所 (〒 )

\* 川西市内・猪名川町・宝塚／伊丹市一部は配達を承ります。\* 郵送料は、全国どこでも何本でも…一律 200円

### 【お申し込み先】

川西市共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打1-5-19 TEL/FAX 072-755-4101 まで